

月刊 社会保険 3

2024 VOL.884

一般社団法人
全国社会保険協会連合会

カスタマーハラスメント対策に取り組みましょう!

ゲートキーパーになろう!

厚生労働省からのお知らせ 従業員数100人以下の事業主のみなさまへ
法律改正によりパート・アルバイトの社会保険の加入条件が変わります。

パート・アルバイトの方向け 社会保険加入のメリット

事業主の皆さまへ
キャリアアップ助成金「正社員化コース」を拡充しました!
2023年11月29日以降における変更点のご案内

カスタマーハラスメント対策に取り組みましょう!	4
ゲートキーパーになろう!	6
厚生労働省からのお知らせ 従業員数100人以下の事業主のみなさまへ 法律改正によりパート・アルバイトの社会保険の加入条件が変わります。	8
パート・アルバイトの方向け 社会保険加入のメリット	10
事業主の皆さまへ キャリアアップ助成金「正社員化コース」を拡充しました! 2023年11月29日以降における変更点のご案内	12
年金・健康保険委員活動報告 3世代の社会保険の考え方 <small>あき 安芸自動車学校 会長</small> <small>やまぐち たかあき 山口 隆朗</small>	14
年金制度の理念と構造 一ポイント解説 第11回 遺族年金の仕組みと課題 <small>日本総合研究所特任研究員(前厚生労働省年金局長)</small> <small>たかはし としゆき 高橋 俊之</small>	16
労働法のポイント 第23回 月60時間を超える法定時間外労働 監修/社会保険労務士法人SKMオフィス	18
新たな時代の働き方改革 一仕事の「ムダ」がなくなる超・時短術 第11回 最小の時間で最大の成果を出すインプット時短術 <small>株式会社クロスリバー代表取締役CEO</small> <small>こしかわ しんじ 越川 慎司</small>	20
書評 <small>たなかひであき</small> 田中秀明 著「新しい国民皆保険」構想 一制度改革・人的投資による経済再生戦略	22
がんケア、さらなる社会化に向かって 第11回 アートとケアが交差するところで、新しいケアの扉が開く。 NPO法人キャンサーリボンズ 編	23
食べて元気! 楽しい食事の秘訣 第4回 からだを温める食事でデトックス <small>管理栄養士 健康運動指導士 NR・サプリメントアドバイザー</small> <small>きくちまゆこ 菊池真由子</small>	26
認知症を予防する⑥ 第11回 プレーリーハタネズミと愛情の神経生物学 <small>お茶の水健康長寿クリニック院長</small> <small>しらすわ たくじ 白澤 卓二</small>	28
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/労働保険編 34 <small>特定社会保険労務士</small> <small>やなぎだ けいち 柳田 恵一</small>	
介護保険の基礎講座 第11回 福祉用具貸与について <small>介護支援専門員・社会福祉士</small> <small>いとう なおみ 伊藤 直美</small>	36

表紙写真・奈良県 水仙と月ヶ瀬梅林/イラストレーション・水森亜土/デザイン・編集協力・(有) フェイム/印刷・(株) アイネット

社内回覧
などにも
便利!今月号のWeb版はこちらよりご覧になれます。
<https://www.zensharen.jp/ebook/2403/>
パスワード:xnur9

3世代の社会保険の考え方



あき 安芸自動車学校 会長
やまぐち たかあき
山口 隆朗

地域の紹介

●朝ドラ「らんまん」

令和5年4月より9月末までNHK朝の連続ドラマ「らんまん」が放映されました。榎野万太郎こと牧野富太郎博士の物語でした。

私は初回到安芸市にある、国の天然記念物の伊尾木洞が映されていたため、そのまま半年間のドラマを全部見ました。土佐弁も最後まで語ってもらい、高知のPRにも素晴らしい効果がありました。高知県立牧野植物園にも、そして牧野博士生誕の地佐川町にも多くの人が訪れていました。ぜひ四国高知で植物や人情にふれて頂き、夜は土佐の地酒を楽しんで頂ければと思っています。もちろん、鰯料理(特にタタキなど)は高知で食べると全くちがう美味しさだ！と皆さんおっしゃいます。ぜひ高知へ来てお召し上がり下さい。

会社の紹介

当社は、高知県安芸市で自動車学校として昭和40年2月に創業し、本

私は今70歳なのですが、年金の繰下げ受給をして、まだ年金は受け取っていません。75歳まで繰下げできるように制度も変わりましたが、もう少し年金を受け取らずにいかうかと思っていますが、「そんなこととしてポツクリいたら損じゃないの」と知人に言われますが、健康で働くことができる人は無理のない範囲で仕事をすることも、これからはいいのかなあと思っています。当社でも働く意志があり賃金と仕事の折り合いが付けば、もう少し(70歳オーバーでも)働こうよと言っています。

●予防接種の考え方

コロナ前の話ですが、7、8年前、会社の経費で就業中にインフルエンザワクチン接種を社員にしてもらうことにしました。私は自分の病気を防ぐのに会社の経費で仕事中に病院に行かせて接種させるなんて行き過ぎではと提言しましたが、その前の年の2月(自動車学校の一番忙しい時期)に社員が次々感染して仕事が半月間位滞ったことがありました。それ以来の年しぶしぶ私は承認をしました。結果は、社員は誰も休まず忙しい

時期を乗り切ることができました。コロナ流行に対しても、できる限りの防止策は取っていましたが、会社が社員の健康に対してかわりを強く持つことの重要性を感じました。私は、自分の健康には自分で責任を持つと考えるでしたが、少々古いのでしょうか……

●委員会活動の中でも

コロナ禍で開催できずにおりました、四国ブロック社会保険委員会連絡協議会のことについてご報告致します。毎年11月頃、四国四県持ち回りで四国ブロックの協議会を開催しております。内容としては日本年金機構及び全国健康保険協会への意見や要望の取りまとめと協議懇談となるのですが、現場の声は切実なものがあったり、私などが気付かないことが出て議論沸騰となる時もあります。そして、その意見をその会場で年金機構や健康保険協会に直接伝えることで、相手から「できること、できないこと、検討してみる」となると、分かりやすく又時に厳しい



安芸伊尾木洞



安芸野良時計

年で59年になりました。私は、もう社長を長男に譲り、会長として会社の困りごとの相談にのっています。

●父の苦勞

私の父は経営者として社員の労務管理や社会保険制度の重要性を考え、まだ始まったばかりの社会保険労務士の資格を得ました。ですから、普通の経営者より社会保険の知識や思いは強く、社員に健康保険や厚生年金への加入や制度への理解を深めようと説明していたのですが、社員からは「制度は分かるが手取りの賃金が減る、将来は良くなるとしても今の生活が苦しいんです」と言われ、制度の普及に苦勞したことを話していました。

私が入社した頃には、社会保険加入は当たり前になっていました。社会

●今の現役世代の不安・不満

今、50歳代の方と話をしていると、人口減少の中、どこまで負担(税金・社会保険料など)が増えるのか?それより20、30歳代の人達は過去の負担まで背負ってゆくののか、との不安・不満を持っていると話していました。世代間の助け合いで安心できる老後と言っていた、父の説明した年金制度を今後も安定的に運用することが求められています。

●私の老後

酒は高知県の文化なのでしょう!?日本一の酒飲み県と言われますが、皆さんおいでになってご確認下さい。タバコは父も私も息子もやめたのですが、今になってやめて良かったと思っっています。社員やお客様には申し訳ないのですが、分煙をお願いしています。

最後に酒とタバコのことですが、

(南国社会保険委員会会長)



安芸自動車学校